



<p>タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_英コミⅢ」 シラバスの詳細は以下となります。</p>

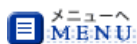


学期	前期	曜日・校時	月1																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005001	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Tc)																								
編集担当教員	前川 智子																								
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]203																								
対象学生(クラス等)	2Tc																								
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師室																								
担当教員TEL																									
担当教員オフィスパワー	授業の前後10分間																								
授業のねらい	英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。																								
授業方法(学習指導法)	読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習を行う。練習問題を解きながら語彙力・内容把握力向上を目指す。内容が分かった上で本文のoverlapping, shadowingを行い、英語らしい発音・イントネーションを習得しながらリスニング力を向上させる。次にディクテーションを行い、リスニング力と語彙力を確認する。各エッセイの要約を書くことで書くコミュニケーション力を、毎回グループ内で要約を発表したり、他の話題を話す練習を行うことで話すコミュニケーション力をつける。このような演習を繰り返しながら中間テストとしてのショート・スピーチや最終スピーチに備える。練習問題、アウトライン・要約・スピーチ原稿を書くなどは宿題とし、授業中は問題の答えあわせと説明、リスニング、音読、overlapping・shadowing、スピーキングの時間とする。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。																								
授業到達目標	エッセイの要約を書き、話すことができる。関心のある問題・話題について、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。																								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1	2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について	3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"	4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk	5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk	6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方	7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)	8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love	9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory	10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace
回	内容																								
1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1																								
2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について																								
3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"																								
4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk																								
5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk																								
6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方																								
7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)																								
8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love																								
9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory																								
10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace																								

	11	第11回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 5&6 又は 9&10 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて
	12	第12回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech
	13	第13回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech
	14	第14回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	15	第15回 二班:スピーチ発表、一班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	16	第16回 三班:スピーチ発表、一班、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	スピーキング	
教科書・教材・参考書	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc 外著) / 新聞記事、インターネット記事など	
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)	
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。	
本科目の位置づけ	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_英コミⅢ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 1																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20110590005022	科目番号	05900050																
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ta)																		
編集担当教員	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]204																		
対象学生(クラス等)	2Ta																		
担当教員Eメールアドレス																			
担当教員研究室	非常勤講師室																		
担当教員TEL	095-819-2078 (全学教育事務室)																		
担当教員オフィスアワー	月曜日1時より																		
授業のねらい	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。																		
授業方法(学習指導法)	英語のフレーズとダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。																		
授業到達目標	基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べることができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、ダイアログの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。																		
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月11日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月18日 UNIT 1・2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月25日 UNIT 3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月 2日 UNIT 5・6</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月 9日 UNIT 7・8</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月16日 UNIT 9・10</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月23日 UNIT 11・12</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月11日 導入・授業内容の説明	2	4月18日 UNIT 1・2	3	4月25日 UNIT 3・4	4	5月 2日 UNIT 5・6	5	5月 9日 UNIT 7・8	6	5月16日 UNIT 9・10	7	5月23日 UNIT 11・12
回	内容																		
1	4月11日 導入・授業内容の説明																		
2	4月18日 UNIT 1・2																		
3	4月25日 UNIT 3・4																		
4	5月 2日 UNIT 5・6																		
5	5月 9日 UNIT 7・8																		
6	5月16日 UNIT 9・10																		
7	5月23日 UNIT 11・12																		

	8	5月30日	UNIT 13・14
	9	6月 6日	UNIT 15・16
	10	6月13日	UNIT 17・18
	11	6月20日	UNIT 19・20
	12	6月27日	UNIT 21・22・23・24
	13	7月 4日	UNIT 25・26
	14	7月11日	UNIT 27・28
	15	7月25日	UNIT 29
	16	定期試験	
キーワード	英米の歌 / ダイアローグ / 文法の強化 / 英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。 それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ	有用な英語の表現や日常会話を学び、役立てる。		
学習・教育目標	英米の歌と対話形式により、実践的かつ有用な英語表現を身に着ける。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005029	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Tb)		
編集担当教員	メリッサ マカララド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカララド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカララド		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2Tb		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	

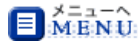


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

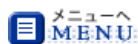
タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005035	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M15)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2M15		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関する語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月11日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月18日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	4月25日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	5月2日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	5月9日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)	
	6	5月16日 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)	
	7	5月23日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	5月30日 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)	
	6月6日		

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	6月13日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	6月20日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	6月27日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
	13	7月4日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	14	7月11日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6)
	15	7月25日 第15回 Review
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	English for Medicine (金星堂)、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、2回実施する。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005002	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ti)																								
編集担当教員	前川 智子																								
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]203																								
対象学生(クラス等)	2Ti																								
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師室																								
担当教員TEL																									
担当教員オフィスパワー	授業の前後10分間																								
授業のねらい	英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。																								
授業方法(学習指導法)	読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習を行う。練習問題を解きながら語彙力・内容把握力向上を目指す。内容が分かった上で本文のoverlapping, shadowingを行い、英語らしい発音・イントネーションを習得しながらリスニング力を向上させる。次にディクテーションを行い、リスニング力と語彙力を確認する。各エッセイの要約を書くことで書くコミュニケーション力を、毎回グループ内で要約を発表したり、他の話題を話す練習を行うことで話すコミュニケーション力をつける。このような演習を繰り返しながら中間テストとしてのショート・スピーチや最終スピーチに備える。練習問題、アウトライン・要約・スピーチ原稿を書くなどは宿題とし、授業中は問題の答えあわせと説明、リスニング、音読、overlapping・shadowing、スピーキングの時間とする。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。																								
授業到達目標	エッセイの要約を書き、話すことができる。関心のある問題・話題について、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。																								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4: Students' Power in the Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6: The Japan that I love</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1	2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について	3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"	4	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"	5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4: Students' Power in the Stone Walk	6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方	7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)	8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6: The Japan that I love	9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory	10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace
回	内容																								
1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1																								
2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について																								
3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"																								
4	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"																								
5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4: Students' Power in the Stone Walk																								
6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方																								
7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)																								
8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6: The Japan that I love																								
9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory																								
10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace																								

	11	第11回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 5&6 又は 9&10 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて
	12	第12回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech
	13	第13回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech
	14	第14回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	15	第15回 二班:スピーチ発表、一班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	16	第16回 三班:スピーチ発表、一班、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	スピーキング	
教科書・教材・参考書	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc 外著) / 新聞記事、インターネット記事など	
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-tellingなどの授業中の活動(20%)	
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。	
本科目の位置づけ	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20110590005018	科目番号	05900050																																
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Tj)																																		
編集担当教員	大坪 有実																																		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実																																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]205																																		
対象学生(クラス等)	2Tj																																		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp																																		
担当教員研究室	非常勤講師控室																																		
担当教員TEL																																			
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00~12:50																																		
授業のねらい	このクラスは、主にリスニングとリーディングの能力を高めながら、健康、異文化交流、社会起業、福祉などの人間社会に関する題材に英語で親しむことをねらいとする。また、各課で取り上げられているテーマについて、生徒同士で意見交換をし、多角的に物事を考える力をつけることもねらいとする。																																		
授業方法(学習指導法)	主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。																																		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・potとpatのように、似ている音を正確に聞き分けることができる。 ・各課のトピックについて、自分の意見が述べられる。 																																		
授業内容	<p>全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半はリスニングを中心した授業で、音の聞き分けの練習をする。 授業の後半はリーディングを中心とした授業で、既習文法を再確認しながら精読する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月11日 教科書販売・Introduction</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月18日 Accepting Diversity</td></tr> <tr><td>3</td><td>4月25日 Fitness and Fatness</td></tr> <tr><td>4</td><td>5月2日 Long Term Athlete Development</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月9日 What is Social Welfare?</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月16日 Multicultural Japan</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月23日 International Migration</td></tr> <tr><td>8</td><td>5月30日 Peace Studies</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月6日 Social Work Field Training</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月13日 Social Enterprises</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月20日 Night School in Kathmandu</td></tr> <tr><td>12</td><td>6月27日 Claim Your Rights and Change Society!</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月4日 Ageism</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月11日 Productive Aging</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月25日 Social Care for Older Adults</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月11日 教科書販売・Introduction	2	4月18日 Accepting Diversity	3	4月25日 Fitness and Fatness	4	5月2日 Long Term Athlete Development	5	5月9日 What is Social Welfare?	6	5月16日 Multicultural Japan	7	5月23日 International Migration	8	5月30日 Peace Studies	9	6月6日 Social Work Field Training	10	6月13日 Social Enterprises	11	6月20日 Night School in Kathmandu	12	6月27日 Claim Your Rights and Change Society!	13	7月4日 Ageism	14	7月11日 Productive Aging	15	7月25日 Social Care for Older Adults
回	内容																																		
1	4月11日 教科書販売・Introduction																																		
2	4月18日 Accepting Diversity																																		
3	4月25日 Fitness and Fatness																																		
4	5月2日 Long Term Athlete Development																																		
5	5月9日 What is Social Welfare?																																		
6	5月16日 Multicultural Japan																																		
7	5月23日 International Migration																																		
8	5月30日 Peace Studies																																		
9	6月6日 Social Work Field Training																																		
10	6月13日 Social Enterprises																																		
11	6月20日 Night School in Kathmandu																																		
12	6月27日 Claim Your Rights and Change Society!																																		
13	7月4日 Ageism																																		
14	7月11日 Productive Aging																																		
15	7月25日 Social Care for Older Adults																																		

	16 8月1日 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Living in Society: From People to Persons 南雲堂 ¥2,100 第1回目の授業時、教室にてテキストを販売します。
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 発表を含む、授業に対する積極的な取組状況40%
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。 教科書を購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005030	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M11)		
編集担当教員	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカラド		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2M11		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005017	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2D16・17)		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	2D16・17		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	活水女子大学井石研究室にて要確認		
授業のねらい	英語読解力養成と聞き取り(イギリス英語の会話表現等)、イギリス文化理解		
授業方法(学習指導法)	使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。		
授業到達目標	英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。		
	回	内容	
	1	4月11日 導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real	
	2	4月18日 Chapter 2: Exporting Sport	
	3	4月25日 Chapter 3: Literature:The Reading Boom	
	4	5月2日 Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes	
	5	5月9日 Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity	
	6	5月16日 Chapter 6: Population: Food for Thought	
	7	5月 23日 Chapter 7: Antiques:Older is Often Better	
	8	5月30日 Chapter 8: Smoke-free Britain	
	9	6月6日 Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals	
	10	6月13日 Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives	
	11	6月 20日 Chapter 11: Structures of the Millennium	
	12	6月27日 Chapter 12: Leisure:Indoor and Outdoor	
	13	7月4日 Chapter 13: Education in the UK	
	14	7月11日 Chapter 14: Superstition and Beliefs	
	15	7月 25日 Chapter 15: Pedal Power	
16	定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido, 2010)
成績評価の方法・基準等	定期試験70点、授業における発表と取り組み30点の配点とする。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木1																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005008	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Eg)																								
編集担当教員	藤内 則光																								
授業担当教員名(科目責任者)	藤内 則光																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤内 則光																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]322																								
対象学生(クラス等)	2Eg																								
担当教員Eメールアドレス	fujuchi@nagasaki-gaigo.ac.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師控室																								
担当教員TEL	095-840-2000 (内線335)																								
担当教員オフィスアワー	外語大335研究室にて随時・要確認																								
授業のねらい	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。																								
授業方法(学習指導法)	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。																								
授業到達目標	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。																								
授業内容	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4/14 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認	2	4/21 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ	3	4/28 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ	4	5/12 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ	5	5/19 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ	6	5/26 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ	7	6/2 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ	8	6/9 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ	9	6/16 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ	10	6/23 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
回	内容																								
1	4/14 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認																								
2	4/21 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ																								
3	4/28 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ																								
4	5/12 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ																								
5	5/19 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ																								
6	5/26 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ																								
7	6/2 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ																								
8	6/9 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ																								
9	6/16 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ																								
10	6/23 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ																								

	11	6/30 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
	12	7/7 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
	13	7/14 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
	14	7/21 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
	15	7/28 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
	16	8/4 定期試験 90分、提出物最終締め切り
キーワード		
教科書・教材・参考書	主教材：What's on Japan 5(金星堂) 副教材：Campus Listening(成美堂)	
成績評価の方法・基準等	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験80%(単語理解8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 21%(部分点なし)、内容理解23%、課題英作文 20%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p>	
受講要件(履修条件)	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	英語の実用的運用能力を、訓練を通じて向上させる。また、英語の自学に必要な勉強・訓練方法も伝授する。実際に英語の実力を付けることで教科書の内容を理解させるのが目的なので、授業の予復習をしない学生の単位成立を保証しない。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	DVDを見て、放送を一通り音読で真似してみる程度の事前訓練をしてください。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005014	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Eh)		
編集担当教員	上村 俊彦		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2Eh		
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-813-5500		
担当教員オフィスアワー	長崎県立大学シーボルト校上村研究室 (要事前予約)		
授業のねらい	CEF(B1/B2)レベルの英語テキストを使い、英文テキストの大意を取りながら読むこと、英語の基本的な構造や出現頻度の高い語彙を用いた英文を聞くこと・話すこと・書くことに習熟する。		
授業方法(学習指導法)	英文テキストの大意を取りながら読むこと(Extensive Reading)、英語音読(Shadowing)、基本的な構文や出現頻度の高い語彙を用いた英文作成(Writing)や発話の演習をおこなう。		
授業到達目標	CEFR(B1-B2)に相当する英語運用能力の養成を目指す。 http://www.ets.org/Media/Research/pdf/CEF_Mapping_Study_Interim_Report.pdf		
授業内容	英語の4技能(「読み」、「聞き」、「書き」、「話す」)の向上のための演習をおこなう。を英文テキストの音声教材を用いたヒアリングを毎回のクラス開始時におこなう。英文テキストの中の英文作成課題については、クラスで演習をおこなうとともに、iPortfolioを用いた課外レポートを課す。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	Unit 1 A world of difference	
	3	Unit 2 The work week	
	4	Unit 3 Good times, bad times	
	5	Unit 4 Getting it right	
	6	Unit 5 Our changing world	
	7	Unit 6 What matters to me	
	8	Extensive Readingとは、中間試験	
	9	Unit 7 Passions and fashions	
	10	Unit 8 No fear!	
	11	Unit 9 It depends how you look at it	
	12	Unit 10 All things high tech	
	13	Unit 11 Seeing is believing	
	14	Unit 12 Telling it like it is	
	15	まとめ	

	16 定期試験
キーワード	Extensive Reading, Four Skills
教科書・教材・参考書	主教材 American Headway : Second Edition Level 3 Student Book with Multi-ROM プリント教材を、随時、配布予定。音声教材 (CD@50程度) を配付予定。
成績評価の方法・基準等	2回の試験(リスニング問題含む), 提出課題(iPortfolio使用), 出席状況等を総合的に検討して評価する。 Mid-Term Test 40% Final Test 40% Assignment 20% (iPortfolio経由で提出)
受講要件(履修条件)	欠席5回以上は失格
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	教科書の音声教材を用いた自律学習が、毎週のクラス参加の前提です。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1795秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005025	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2La)		
編集担当教員	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(科目責任者)	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松村 ラッタナー		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	2La		
担当教員Eメールアドレス	mratana46@yahoo.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095 - 882-6656		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	The focus of this class is on developing students' fluency in English communication. Students will learn to exchange their stories, express their opinions using various communication skills. They will learn to use the English they know to carry on guided and open-ended discussions on topics based on themes of interest to the students themselves.		
授業方法(学習指導法)	This is an interactive speaking class. Communication techniques and strategies will be introduced and practiced in pairs and small groups. They will be reviewed by means of discussing topics selected by students. Various activities including guessing games, picture stories, problem solving will be incorporated to encourage students to talk freely. Students are required to select one reader as their reading material to fulfill the self-study exercise.		
授業到達目標	By the end of the course, students would be able to express one's own ideas more effectively and support their ideas with improved reasoning skills.		
授業内容	Story telling techniques, communication strategies, and language functions relating to developing communicative abilities will be introduced. Introductory material (texts, comics, audiovisual aids etc.) is presented to stimulate ideas and discussions.		
	回	内容	
	1	4月7日 Introduction and choosing topics	
	2	4月14日 Story telling techniques	
	3	4月21日 Basic communication skills: expressing opinions	
	4	4月28日 Basic communication skills: agreeing and disagreeing	
	5	5月12日 Topic 1 and brainstorming	
	6	5月19日 Discussion and practice	
	7	5月26日 Prioritizing and reasoning	
	8	6月2日 Topic 2 and problem solving	
	9	6月9日 Discussion and practice	
	10	6月16日 Topic 3	
	11	6月23日 Discussion and practice	
	12	6月30日 Viewing video	
13	7月7日 Topic 4		

	14	7月14日 Discussion and practice
	15	7月21日 Student presentation
	16	第16回 7月28日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Materials will be distributed in class.	
成績評価の方法・基準等	Participation 10% Homework and self-study 30% Student presentation 30% Final exam 30%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005009	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2P18)																								
編集担当教員	藤内 則光																								
授業担当教員名(科目責任者)	藤内 則光																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤内 則光																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]322																								
対象学生(クラス等)	2P18																								
担当教員Eメールアドレス	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師控室																								
担当教員TEL	095-840-2000 (内線335)																								
担当教員オフィスアワー	外語大335研究室にて随時・要確認																								
授業のねらい	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「話して通じる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。																								
授業方法(学習指導法)	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。																								
授業到達目標	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。																								
授業内容	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28 副教材 Lesson 2、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12 副教材 Lesson 3、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19 副教材 Lesson 4、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26 副教材 Lesson 5、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2 副教材 Lesson 7、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9 副教材 Lesson 9、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16 副教材 Lesson 14、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23 副教材 Lesson 17、主教材 教科書1課、または新章へ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4/14 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認	2	4/21 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1	3	4/28 副教材 Lesson 2、主教材 教科書1課、または新章へ	4	5/12 副教材 Lesson 3、主教材 教科書1課、または新章へ	5	5/19 副教材 Lesson 4、主教材 教科書1課、または新章へ	6	5/26 副教材 Lesson 5、主教材 教科書1課、または新章へ	7	6/2 副教材 Lesson 7、主教材 教科書1課、または新章へ	8	6/9 副教材 Lesson 9、主教材 教科書1課、または新章へ	9	6/16 副教材 Lesson 14、主教材 教科書1課、または新章へ	10	6/23 副教材 Lesson 17、主教材 教科書1課、または新章へ
回	内容																								
1	4/14 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認																								
2	4/21 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1																								
3	4/28 副教材 Lesson 2、主教材 教科書1課、または新章へ																								
4	5/12 副教材 Lesson 3、主教材 教科書1課、または新章へ																								
5	5/19 副教材 Lesson 4、主教材 教科書1課、または新章へ																								
6	5/26 副教材 Lesson 5、主教材 教科書1課、または新章へ																								
7	6/2 副教材 Lesson 7、主教材 教科書1課、または新章へ																								
8	6/9 副教材 Lesson 9、主教材 教科書1課、または新章へ																								
9	6/16 副教材 Lesson 14、主教材 教科書1課、または新章へ																								
10	6/23 副教材 Lesson 17、主教材 教科書1課、または新章へ																								

	11	6/30 副教材 Lesson 18、主教材 教科書1課、または新章へ
	12	7/7 副教材 Lesson 19、主教材 教科書1課、または新章へ
	13	7/14 副教材 Lesson 21、主教材 教科書1課、または新章へ
	14	7/21 副教材 Lesson 22、主教材 教科書1課、または新章へ
	15	7/28 副教材 Lesson 23、主教材 教科書1課
	16	8/4 定期試験 90分、提出物最終締め切り
キーワード		
教科書・教材・参考書	主教材: What's on Japan 5(金星堂) 副教材: Short Listening for Travel(成美堂)	
成績評価の方法・基準等	全て主教材より 定期試験80%(単語理解8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 21%(部分点なし)、内容理解23%、課題英作文 20%(部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)	
受講要件(履修条件)	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	英語の実用的運用能力を、訓練を通じて向上させる。また、英語の自学に必要な勉強・訓練方法も伝授する。実際に英語の実力を付けることで教科書の内容を理解させるのが目的なので、授業の予復習をしない学生の単位成立を保証しない。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005007	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ea)		
編集担当教員	大里 泰弘		
授業担当教員名(科目責任者)	大里 泰弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大里 泰弘		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	2Ea		
担当教員Eメールアドレス	yoosato5@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時に要確認		
授業のねらい	英語基礎コミュニケーション能力の定着・養成・TOEIC基礎学力の定着		
授業方法(学習指導法)	Communicative Grammar中心。各ユニットで実際に使える重要表現を取り上げ、演習後、場面別Model Conversationをもとに、様々なペアワークを通してスキルを身につけるようにする。		
授業到達目標	英語基礎コミュニケーション能力習得およびそれに必要とされる文法能力の定着		
授業内容	ユニットごとにテーマを取り上げての総合演習。・TOEIC様式の問題での学習(プリント)。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction U1 It's nice to meet you.	
	2	第2回 U2 What does FIY mean?	
	3	第3回 U3 May I speak to Mr. Yoshioka?	
	4	第4回 U4 may I take a message?	
	5	第5回 U5 I have a headache., Review1	
	6	第6回 U6 I have another appointment at 9:30.	
	7	第7回 U7 would you like something to drink?	
	8	第8回 U8 Let's go out for a drink.	
	9	第9回 U9 How was your weekend?	
	10	第10回 U10 The sales department is on the 3rd floor., Review2	
	11	第11回 U11 Turn right on main Street.	
	12	第12回 U12 First, press the start button.	
	13	第13回 U13 I'd like to check in.	
	14	第14回 U14 I'm looking for a souvenir.	
	15	第15回 U15 What would you like to have?	
16	第16回 定期試験		
キーワード	Communicative Grammar Comprehensive Approach		

教科書・教材・参考書	First Steps to Office English Cengage Learning
成績評価の方法・基準等	定期試験はReview3としてReview1-3 75%、授業参加度(QUIZ・課題提出等)25%で評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005012	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Lc)		
編集担当教員	島山 均		
授業担当教員名(科目責任者)	島山 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島山 均		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2Lc		
担当教員Eメールアドレス	hatakeyama@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて		
授業のねらい	Voice of Americaを素材として作成された教材を使い、主としてlistening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)	小テスト、テキストに従いlistening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。		
授業到達目標	まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。 まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。 必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	10Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明	
	2	Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	3	Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	4	Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	5	Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	6	Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	7	Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	8	Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	9	Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	10	Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	11	Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	12	Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	13	Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	14	Unit 13 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
15	音読テスト		

	16 定期試験(筆記試験)
キーワード	
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Kathleen Brown (2006) The Global Topics of Health and Environment from VOA 健康と環境:身近なトピックから国際問題まで. 松柏社.
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト----40% 音読テスト-----20% 期末試験-----40%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

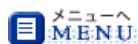


学期	前期	曜日・校時	木4																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005016	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Eb)																								
編集担当教員	勝俣 好充																								
授業担当教員名(科目責任者)	勝俣 好充																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	勝俣 好充																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]303																								
対象学生(クラス等)	2Eb																								
担当教員Eメールアドレス																									
担当教員研究室	非常勤講師室																								
担当教員TEL	095-846-0084(長崎純心大学)																								
担当教員オフィスマワー	4限終了後、教室にて。																								
授業のねらい	大学において第二言語として英語を学ぶ目的、方法、考え方をあらためて整理・明確化し、これまでの学習の蓄積を俯瞰・統合・活性化することにつとめる。とくにまとまった内容をそなえた情報を聞き取るちからをやしなうことをねらいとする。受講者はそのためのスキルを主体的に再編・確認することがもとめられる。																								
授業方法(学習指導法)	音声にかんする基本事項を確認した後、おもにリスニング演習をとおしてその運用能力の定着をはかるというかたちですすめる。																								
授業到達目標	英語の音声にかんする基本事項を理解し、文字媒体とならんで音声媒体からまとまった内容をそなえた情報を聞き取ることができるようになること。																								
授業内容	<p>最初にあらためて英語を学ぶ目的、方法、考え方を整理・明確化することからはじめ、その後、音声にかんする基本事項を確認し、リスニング演習をとおして、これまでの英語学習の蓄積を統合・活性化していく。授業終了後には、英語習得のスキルとして、みずから編集したレジュメを提出課題とする。そのようにして再確認された英語力によって、期末試験にのぞむことになる。</p> <p>第16回、8月5日、定期試験。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月15日、英語を学ぶ目的、方法、考え方</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月22日、音声の基本事項(1)母音と子音、語の強勢</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5月6日、音声の基本事項(2)文の強勢とリズム</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月13日、音声の基本事項(3)消える音</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月20日、音声の基本事項(4)つながる音</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月27日、音声の基本事項(5)変化する音</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6月3日、音声の基本事項(6)数字の聞き取り</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月10日、音声の基本事項(7)意味単位で聞き取る</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月17日、総合演習(1)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6月24日、総合演習(2)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月15日、英語を学ぶ目的、方法、考え方	2	4月22日、音声の基本事項(1)母音と子音、語の強勢	3	5月6日、音声の基本事項(2)文の強勢とリズム	4	5月13日、音声の基本事項(3)消える音	5	5月20日、音声の基本事項(4)つながる音	6	5月27日、音声の基本事項(5)変化する音	7	6月3日、音声の基本事項(6)数字の聞き取り	8	6月10日、音声の基本事項(7)意味単位で聞き取る	9	6月17日、総合演習(1)	10	6月24日、総合演習(2)
回	内容																								
1	4月15日、英語を学ぶ目的、方法、考え方																								
2	4月22日、音声の基本事項(1)母音と子音、語の強勢																								
3	5月6日、音声の基本事項(2)文の強勢とリズム																								
4	5月13日、音声の基本事項(3)消える音																								
5	5月20日、音声の基本事項(4)つながる音																								
6	5月27日、音声の基本事項(5)変化する音																								
7	6月3日、音声の基本事項(6)数字の聞き取り																								
8	6月10日、音声の基本事項(7)意味単位で聞き取る																								
9	6月17日、総合演習(1)																								
10	6月24日、総合演習(2)																								

	11	7月1日、総合演習(3)
	12	7月8日、総合演習(4)
	13	7月15日、総合演習(5)
	14	7月22日、総合演習(6)
	15	7月29日、まとめ
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書はプリントを使用。参考書は随時紹介する。	
成績評価の方法・基準等	提出課題20%、期末試験80%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005003	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ec)																								
編集担当教員	前川 智子																								
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]303																								
対象学生(クラス等)	2Ec																								
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師室																								
担当教員TEL																									
担当教員オフィスパワー	授業の前後10分間																								
授業のねらい	英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。																								
授業方法(学習指導法)	読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習を行う。練習問題を解きながら語彙力・内容把握力向上を目指す。内容が分かった上で本文のoverlapping, shadowingを行い、英語らしい発音・イントネーションを習得しながらリスニング力を向上させる。次にディクテーションを行い、リスニング力と語彙力を確認する。各エッセイの要約を書くことで書くコミュニケーション力を、毎回グループ内で要約を発表したり、他の話題を話す練習を行うことで話すコミュニケーション力をつける。このような演習を繰り返しながら中間テストとしてのショート・スピーチや最終スピーチに備える。練習問題、アウトライン・要約・スピーチ原稿を書くなどは宿題とし、授業中は問題の答えあわせと説明、リスニング、音読、overlapping・shadowing、スピーキングの時間とする。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。																								
授業到達目標	エッセイの要約を書き、話すことができる。関心のある問題・話題について、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。																								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1	2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について	3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"	4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk	5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk	6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方	7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)	8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love	9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory	10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace
回	内容																								
1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1																								
2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について																								
3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"																								
4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk																								
5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk																								
6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方																								
7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)																								
8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love																								
9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory																								
10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace																								

	11 第11回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 5&6 又は 9&10 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて
	12 第12回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech
	13 第13回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech
	14 第14回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	15 第15回 二班:スピーチ発表、一斑、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	16 第16回 三班:スピーチ発表、一斑、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	スピーキング
教科書・教材・参考書	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc 外著) / 新聞記事、インターネット記事など
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。
本科目の位置づけ	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005023	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ee)		
編集担当教員	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	2Ee		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078 (全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日10時30分より		
授業のねらい	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアローグの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。		
授業方法(学習指導法)	ダイアローグの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアローグを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアローグを使用してみる。リスニングの指導を行う。派生語・適語選択・会話表現の問題を解き、解説を行う。何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業到達目標	基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べる事ができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常生活を通して、ダイアローグの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業内容	日常生活及び学生生活に即したテーマを中心とした、普遍的な状況の中で交わされる、実践的な親しみやすいダイアローグについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返していき、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアローグの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。		
	回	内容	
	1	4月 8日 導入・授業内容の説明	
	2	4月15日 Topics 1・2・3	
	3	4月22日 Topics 4・5・6	
	4	5月6日 Topics 7・8・9	
	5	5月13日 Topics 10・11・12・13	
	6	5月20日 Topics 14・15・16・17	

	7	5月27日	Topics 18・19・20
	8	6月3日	Topics 21・22・23
	9	6月10日	Topics 24・25・26
	10	6月17日	Topics 27・28・29
	11	6月24日	Topics 30・31・32
	12	7月 1日	Topics 34・35・36
	13	7月 8日	Topics 37・38・39
	14	7月15日	Topics 40・41・42
	15	7月22日	Topics 43・44
	16	定期試験	
キーワード	様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な表現 / 多彩なトピックス		
教科書・教材・参考書	A Shorter Course in Situational Conversation『英語会話』（赤川裕：南雲堂） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。 それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件（履修条件）	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ	有用な日常会話を学び、役立てる。定型的な会話文を定着させ、スピーキングとコミュニケーションの能力を向上させる。		
学習・教育目標	対話形式で実践的な英語表現を身に着ける。		
備考（URL）			
備考（準備学習等）	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。		





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金2																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005004	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ef)																								
編集担当教員	前川 智子																								
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]303																								
対象学生(クラス等)	2Ef																								
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師室																								
担当教員TEL																									
担当教員オフィスアワー	授業の前後10分間																								
授業のねらい	英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。																								
授業方法(学習指導法)	読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習を行う。練習問題を解きながら語彙力・内容把握力向上を目指す。内容が分かった上で本文のoverlapping, shadowingを行い、英語らしい発音・イントネーションを習得しながらリスニング力を向上させる。次にディクテーションを行い、リスニング力と語彙力を確認する。各エッセイの要約を書くことで書くコミュニケーション力を、毎回グループ内で要約を発表したり、他の話題を話す練習を行うことで話すコミュニケーション力をつける。このような演習を繰り返しながら中間テストとしてのショート・スピーチや最終スピーチに備える。練習問題、アウトライン・要約・スピーチ原稿を書くなどは宿題とし、授業中は問題の答えあわせと説明、リスニング、音読、overlapping・shadowing、スピーキングの時間とする。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。																								
授業到達目標	エッセイの要約を書き、話すことができる。関心のある問題・話題について、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。																								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1	2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について	3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"	4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk	5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk	6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方	7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)	8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love	9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory	10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace
回	内容																								
1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1																								
2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について																								
3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"																								
4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk																								
5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk																								
6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方																								
7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)																								
8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love																								
9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory																								
10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace																								

	11	第11回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 5&6 又は 9&10 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて
	12	第12回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech
	13	第13回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech
	14	第14回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	15	第15回 二班:スピーチ発表、一班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	16	第16回 三班:スピーチ発表、一班、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	スピーキング	
教科書・教材・参考書	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc 外著) / 新聞記事、インターネット記事など	
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-tellingなどの授業中の活動(20%)	
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。	
本科目の位置づけ	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。	

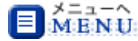


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

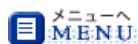
戻る

学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005021	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ed)		
編集担当教員	山崎 祐一		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 祐一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 祐一		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	英語コミュニケーションⅢ(2Ed)		
担当教員Eメールアドレス	yamasaki@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマナー			
授業のねらい	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業方法(学習指導法)	英語圏の大都市で日本人が実際に現地の人々と遭遇し、語り合っていくという設定のもとで、ビデオ教材を用いながら英語圏での経験や出来事を英語で聞き、実際に英語で対話練習をする。		
授業到達目標	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広げていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることができる英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
授業内容	回	内容	
	1	ガイダンスとイントロダクション	
	2	英語の音声システム(日本語との比較と発音練習)	
	3	場所やその他の情報の入手に関する表現	
	4	要望を伝える表現・電話によるコミュニケーション	
	5	尋ねる表現・教える表現・初対面の人との接し方	
	6	相手に好みを聞く表現・自分の好みを相手に伝える表現	
	7	食事中に使う表現	
	8	異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニケーション・アクティビティ	
	9	店員が使う表現・店で客が使う表現・店員との接し方	
	10	丁寧に依頼する表現・許可を求める表現・希望を伝える表現	
	11	親しい人への挨拶・様子を尋ねる表現・尋ねられたことに対する応答	
	12	異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニケーション・アクティビティ	
	13	感謝する表現・別れの挨拶	
	14	空港、機内で使われる表現・税関で訪ねられる質問	
	15	まとめ	

	16 定期試験
キーワード	異文化理解、英語表現、英語発音
教科書・教材・参考書	教科書:『Viva! San Francisco』(マクミラン・ランゲージハウス) 副教材『英会話の教科書』(Jリサーチ出版)
成績評価の方法・基準等	期末試験(60%)、クイズ、授業への積極的参加状況(40%)を総合して評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005031	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Le)		
編集担当教員	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカラド		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	2Le		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005019	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Tg)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	2Tg		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業方法(学習指導法)	理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。		
授業到達目標	簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。		
授業内容	Text内の、各UnitにはTopicが設けられて基本的なConversationが成されています。そのTopicとConversationを基礎に各自、各グループで考えられるSituationを想定して、Conversationを展開して行きます。日本人に独特な、発音を出るだけNativeに近いものに修正し、これまで学んできた英語をPracticalなものになるような授業にいたします。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 機能編	
	3	第3回 Unit 2 場面編	
	4	第4回 Unit 3 基本的な疑問文のパターン	
	5	第5回 Unit 3 基本的な疑問文のパターン	
	6	第6回 Unit 4 助動詞	
	7	第7回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work)	
	8	第8回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work)	
	9	第9回 Unit 5 動詞と準動詞	
	10	第10回 Unit 5 動詞と準動詞	
	11	第11回 Unit 6 名詞節を用いた表現	
	12	第12回 Unit 6 名詞節を用いた表現	
	13	第13回 Unit 7 ひとくち英会話集	

	14 第14回 Unit 7 ひとくち英会話集
	15 第15回 Final Examination, Group Presentation
	16 第16回 Final Examination, Group Presentation
キーワード	
教科書・教材・参考書	英語コミュニケーション教本(英光社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Mid-Term Examination: 20% Final Examination: 50%
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。

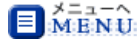


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

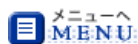
タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_英コミⅢ」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	月 1																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20110590005024	科目番号	05900050																
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Td)																		
編集担当教員	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]204																		
対象学生(クラス等)	2Td																		
担当教員Eメールアドレス																			
担当教員研究室	非常勤講師控室																		
担当教員TEL	095-819-2078 (全学教育事務室)																		
担当教員オフィスパワー	月曜日1時より																		
授業のねらい	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。																		
授業方法(学習指導法)	英語のフレーズとダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。																		
授業到達目標	基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べることができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、ダイアログの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。																		
授業内容	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、対話形式の実践的なダイアログについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアログの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月 3日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月17日 UNIT 1・2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月24日 UNIT 3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月31日 UNIT 5・6</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月 7日 UNIT 7・8</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月14日 UNIT 9・10</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月28日 UNIT 11・12</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 3日 導入・授業内容の説明	2	10月17日 UNIT 1・2	3	10月24日 UNIT 3・4	4	10月31日 UNIT 5・6	5	11月 7日 UNIT 7・8	6	11月14日 UNIT 9・10	7	11月28日 UNIT 11・12
回	内容																		
1	10月 3日 導入・授業内容の説明																		
2	10月17日 UNIT 1・2																		
3	10月24日 UNIT 3・4																		
4	10月31日 UNIT 5・6																		
5	11月 7日 UNIT 7・8																		
6	11月14日 UNIT 9・10																		
7	11月28日 UNIT 11・12																		

	8	12月 5日	UNIT 13・14
	9	12月12日	UNIT 15・16
	10	12月19日	UNIT 21・22・23・24
	11	12月26日	UNIT 19・20
	12	1月16日	UNIT 17・18
	13	1月23日	UNIT 25・26
	14	1月30日	UNIT 27・28
	15	2月 6日	UNIT 29
	16	定期試験	
キーワード	英米の歌 / ダイアログ / 文法の強化 / 英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。 それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ	有用な英語の表現や日常会話を学び、役立てる。		
学習・教育目標	英米の歌と対話形式により、実践的かつ有用な英語表現を身に着ける。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005032	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Th)		
編集担当教員	メリッサ マカララド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカララド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカララド		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2Th		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ
MENUログアウト
LOGOUT

シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る

学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005005	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Kb)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	2Kb		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	学期を通してEnglish Presentationを実践します。これまで学んできた英語を駆使して、4人から6人のグループをつくり、興味のあるトピックを学期末に英語で発表することを最終目標とします。また、集めた情報をまとめ、それをもとに独自の思考を組み立てていくCritical Thinkingも学びます。		
授業方法(学習指導法)	講義内容は、Presentationの組み立て方、English Presentationに適切な表現や姿勢、英語での情報収集やまとめ方に重点を置きます。物事を多面的に見解し、ニュートラルな考え方ができるようになります。		
授業到達目標	Presentationを段階的に作成していく中で、作文力、読解力、応用力ができ、発表をすることによりSpeakingや対応力、判断力がつきます。		
授業内容	前半は教科書、プリント等の講義、後半はGroup Workとします。Formal Presentationを学期末試験とします。これまで培ってきた英語力を確認し、大学生レベルの英語をもってすれば非常に高度なPresentationを英語でも出来ることを証明します。資料収集にあたり、ReadingやListing、また、発表に従って、Speakingのskillも重要となります。毎回の講義を有意義に進めていくSelf-Controlも重要です。		
	回	内容	
	1	10月3日 Introduction	
	2	10月17日 Chapter 6	
	3	10月24日 Chapter 7	
	4	10月31日 Chapter 3	
	5	11月7日 Chapter 4	
	6	11月14日 Chapter 9	
	7	11月28日 Chapter 10	
	8	12月5日 Chapter 1	
	9	12月12日 Chapter 2	
	10	12月19日 Due Date of Formal Presentation Outline	
	11	12月26日 Preparation	
	12	1月16日 Preparation	
13	1月23日 Preparation		

	14	1月30日 Final Examination, Group Presentation
	15	2月6日 Final Examination, Group Presentation
	16	第16回 2月13日 Final Examination, Group Presentation
キーワード	Presentation, Group Work, Critical Thinking	
教科書・教材・参考書	Power Presentation「英語でプレゼンテーション」(三修社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% 提出物: Formal Presentation Outline: 25% Final Examination: English Presentation: 45%	
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。)講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

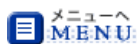


学期	後期	曜日・校時	月3																								
開講期間																											
必修選択	必	単位数	1.0																								
時間割コード	20110590005020	科目番号	05900050																								
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Tf)																										
編集担当教員	前川 智子																										
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子																										
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																								
教室	[全]401																										
対象学生(クラス等)	2Tf																										
担当教員Eメールアドレス	t-mac@asca-iso.jp																										
担当教員研究室	非常勤講師室																										
担当教員TEL																											
担当教員オフィスアワー	授業の前後10分間																										
授業のねらい	英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。																										
授業方法(学習指導法)	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(ライティングなど)と会話練習を行う。後半では日常会話を学びながら、関連したトピックのアメリカ文化についてのエッセイを読み、同じテーマについて日本の文化・事情を書く。スキットやエッセイのoverlapping, shadowingを行い、英語らしい発音・イントネーションを習得しながらリスニング力を向上させる。毎回ペアやグループ内で週末の出来事などを話す練習を行う。このような演習を繰り返しながら中間テストとしての自己紹介や最終スピーチ(日本文化・事情紹介)に備える。練習問題、アウトライン・要約・スピーチ原稿を書くなどは宿題とし、授業中は問題の答えあわせと説明、リスニング、音読、overlapping・shadowing、スピーキングの時間とする。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。																										
授業到達目標	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。日本文化や日本事情について英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。																										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / L.1: Nice to Meet You, L.2: Family</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 L. 3: Clubs and Jobs, L.4: Hobbies</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 L. 5: Traveling, L.6: Food and Cooking</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 L.7: Putting it All Together、スピーチの仕方 <スピーチ原稿提出></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 中間テスト: 自己紹介のスピーチ / 英語でのスピーチ講評(グループ)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 中間テスト: 自己紹介のスピーチ / 英語でのスピーチ講評(グループ) / L. 8: What's New? / College Education in America</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 L. 9: How Was Your Weekend? / Regional Food in America</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 L. 10: What's Wrong with You? / Health Care in America</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 L. 11: What Are You going to Do in the holiday? / Holidays for American Students</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 L. 12: We're Having a Party / Parties in America / 最終スピーチテーマについて</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / L.1: Nice to Meet You, L.2: Family	2	第2回 L. 3: Clubs and Jobs, L.4: Hobbies	3	第3回 L. 5: Traveling, L.6: Food and Cooking	4	第4回 L.7: Putting it All Together、スピーチの仕方 <スピーチ原稿提出>	5	第5回 中間テスト: 自己紹介のスピーチ / 英語でのスピーチ講評(グループ)	6	第6回 中間テスト: 自己紹介のスピーチ / 英語でのスピーチ講評(グループ) / L. 8: What's New? / College Education in America	7	第7回 L. 9: How Was Your Weekend? / Regional Food in America	8	第8回 L. 10: What's Wrong with You? / Health Care in America	9	第9回 L. 11: What Are You going to Do in the holiday? / Holidays for American Students	10	第10回 L. 12: We're Having a Party / Parties in America / 最終スピーチテーマについて	11	第11回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech
回	内容																										
1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて / L.1: Nice to Meet You, L.2: Family																										
2	第2回 L. 3: Clubs and Jobs, L.4: Hobbies																										
3	第3回 L. 5: Traveling, L.6: Food and Cooking																										
4	第4回 L.7: Putting it All Together、スピーチの仕方 <スピーチ原稿提出>																										
5	第5回 中間テスト: 自己紹介のスピーチ / 英語でのスピーチ講評(グループ)																										
6	第6回 中間テスト: 自己紹介のスピーチ / 英語でのスピーチ講評(グループ) / L. 8: What's New? / College Education in America																										
7	第7回 L. 9: How Was Your Weekend? / Regional Food in America																										
8	第8回 L. 10: What's Wrong with You? / Health Care in America																										
9	第9回 L. 11: What Are You going to Do in the holiday? / Holidays for American Students																										
10	第10回 L. 12: We're Having a Party / Parties in America / 最終スピーチテーマについて																										
11	第11回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech																										

	12	第12回 <最終スピーチ下書き提出> Preparation for the final speech
	13	第13回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech
	14	第14回 一班:最終スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	15	第15回 二班:最終スピーチ発表、一斑、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	16	第16回 三班:最終スピーチ発表、一斑、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	スピーキング	
教科書・教材・参考書	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)	
成績評価の方法・基準等	期末テスト:最終スピーチ(30%) / 中間テスト:自己紹介スピーチ(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・授業中の活動(20%)	
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。	
本科目の位置づけ	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005033	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Te)		
編集担当教員	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカラド		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2Te		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	

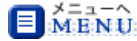


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」

シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3						
開講期間									
必修選択	必	単位数	1.0						
時間割コード	20110590005038	科目番号	05900050						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ka)								
編集担当教員	小笠原 真司								
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目						
教室	[全]322								
対象学生(クラス等)	2Ka								
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp								
担当教員研究室	環境科学部1階								
担当教員TEL	095-819-2094								
担当教員オフィスパワー	木3 金3 金5								
授業のねらい	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。								
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習していただくことを要求します。また、2回程度、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。								
授業到達目標	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信もって英語でスピーチできるようにします。								
	<p>毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。</p> <p>この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>16回 定期試験 (2012年2月13日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1	2	テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2
回	内容								
1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1								
2	テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2								

授業内容	3	テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3	
	4	テキスト 場面編:基本情報を語る 基礎リスニングトレーニング3 映画教材4	
	5	テキスト 場面編:趣味・クラブ・バイトを語る 映画教材5	
	6	テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材6	
	7	テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材7	
	8	テキスト 場面編:友人のことを聞く スピーチ練習課題A 映画教材8	
	9	テキスト 場面編:授業情報を聞く 映画教材9	
	10	テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材10	
	11	テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材11	
	12	テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材12	
	13	テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材13	
	14	テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材14	
	15	ESP関係の語彙修得練習 リスニング(ポストテスト)	
	16	定期試験 2012年2月13日	
	キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):JACET英語リスニングテスト600円(第1回目の授業時に徴収します) English Communication for Self-Expression -Life,Culture and Medicine- (EIKO-SHA) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 :プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー10% リスニングテスト(ポストテスト)20%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005006	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Kc)		
編集担当教員	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 有介		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	2Kc		
担当教員Eメールアドレス	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	異文化理解を深めることは外国語学習への第1歩であることを前提に広い視野を持って英語学習を進めていく。イギリスやアメリカの文化を・習慣と通じ、日本やアジアの文化・習慣との違いを知ることでより深い英語の表現を学習することができるのである。		
授業方法(学習指導法)	短い英文を読み、読解力を鍛えるとともに文法力の確認、語彙力作文力を通して表現力をの向上を目指す。Speakingの練習も同時に行う。		
授業到達目標	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業内容	毎回1つのUnitを進めていく。ReadingとExerciseとしてBuild Up Your Vocabulary、Check Your Understanding、Grammatical Pointを行う。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション:授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ	
	2	When Do You Eat? —アフタヌーン・ティーってお茶の時間?—	
	3	Before You Go to England —イギリスはどこにあるのか—	
	4	Future of the Shopping Mall —なんでも買えるお店はどこにある?—	
	5	Basic of Apartment Renting —世界の借家事情—	
	6	Is That Really English? —それってホントに英語なの—	
	7	Dining Out: East and West —「私がおごります」—	
	8	中間としてのまとめ(テストを含む)	
9	Careers and Promotions —年功序列と実力主義、どちらがいい?—		

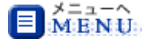
	10	Bath or Shower? —あなたは風呂派？ それともシャワー派？—
	11	White=Right? —美白の魔力、白い肌が美しいというのは世界の共通か？—
	12	Money and Modern Weddings —経済力と結婚の厳しい現実—
	13	Subway Around the World —世界の地下鉄を乗りこなそう—
	14	Work Hours —生きるために働くのか、働くために生きるのか—
	15	Female Leaders —女性と仕事—
	16	全体のまとめ(定期試験を含む)
キーワード	Reading/Writing/Listneing/Speaking/Vocabulary/文法	
教科書・教材・参考書	Know the Differences, Broaden Your World!—Short Reading and Basic Grammar for Cultural Literacy— (Asahi Press)	
成績評価の方法・基準等	○定期試験50%、中間試験30%、小試験10%、授業への姿勢(予習・発言・質問)10%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005036	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Kd)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2Kd		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	10月4日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月11日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	10月18日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	10月25日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	11月1日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	11月8日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	11月15日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	11月22日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	

	9	11月29日 第9回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	12月6日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	12月13日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるヘアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	12月20日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	1月10日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	14	1月17日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	1月24日(予備日に実施) Review
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。まとめテストは、2回実施する。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005037	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M14)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2M14		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関する語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	10月4日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月11日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	10月18日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	10月25日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	11月1日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)	
	6	11月8日 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)	
	7	11月15日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	11月22日 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)	
	11月29日		

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	12月6日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	12月13日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	12月20日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
	13	1月10日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	14	1月17日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6)
	15	1月24日 第15回 Review
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、2回実施する。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20110590005039	科目番号	05900050								
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M13)										
編集担当教員	小笠原 真司										
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司										
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[全]124										
対象学生(クラス等)	2M13										
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp										
担当教員研究室	環境科学部1階										
担当教員TEL	095-819-2094										
担当教員オフィスパワー	木3 金3 金5										
授業のねらい	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。										
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習しておくことを要求します。また、2回程度、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。										
授業到達目標	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信をもって英語でスピーチできるようにします。										
	<p>毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。</p> <p>この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>テキスト 機能編: あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1	2	テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2	3	テキスト 機能編: あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3
回	内容										
1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1										
2	テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2										
3	テキスト 機能編: あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3										

授業内容	4	テキスト 場面編: 基本情報を語る 基礎リスニングトレーニング3 映画教材4	
	5	テキスト 場面編: 趣味・クラブ・バイトを語る 映画教材5	
	6	テキスト 場面編: 勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材6	
	7	テキスト 場面編: 勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材7	
	8	テキスト 場面編: 友人のことを聞く スピーチ練習課題A 映画教材8	
	9	テキスト 場面編: 授業情報を聞く 映画教材9	
	10	テキスト 構文編: 基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材10	
	11	テキスト 構文編: 基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材11	
	12	テキスト 構文編: 基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材12	
	13	テキスト 構文編: 助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材13	
	14	テキスト 構文編: 助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材14	
	15	ESP関係の語彙修得練習 リスニング(ポストテスト)	
	16	定期試験	
	キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): JACET英語リスニングテスト600円(第1回目の授業時に徴収します) English Communication for Self-Expression -Life, Culture and Medicine- (EIKO-SHA) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー10% リスニングテスト(ポストテスト)20%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

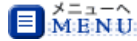
[戻る](#)

学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005028	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M12)		
編集担当教員	ペー シュウキ		
授業担当教員名(科目責任者)	ペー シュウキ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ペー シュウキ		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	2M12		
担当教員Eメールアドレス	s-beh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	This course is designed to develop students' basic communication skill. Each class provides students with the opportunity to learn words, phrases and dialogues that are related to the topics.		
授業方法(学習指導法)	Each class deals with an everyday topic. The activities are designed to help students telling their own ideas and experiences. Students will have the opportunity to interact and communicate with each other by completing tasks given in the class.		
授業到達目標	By the end of the course, students should be able to use English for expressing their own ideas and feelings.		
授業内容	回	内容	
	1	ORIENTATION & GETTING TO KNOW EACH OTHER	
	2	第2回 THIS IS ME (1)	
	3	第3回 THIS IS ME (2)	
	4	第4回 LEISURE ACTIVITIES (1)	
	5	第5回 LEISURE ACTIVITIES (2)	
	6	第6回 GOING PLACES (1)	
	7	第7回 GOING PLACES (2)	
	8	第8回 MIDTERM EXAMINATION	
	9	第9回 MONEY	
	10	第10回 HEALTH (1)	
	11	第11回 HEALTH (2)	
	12	第12回 WORK (1)	
	13	第13回 WORK (2)	
	14	第14回 WORK (3)	
	15	第15回 END-OF-TERM EXAMINATION	
16	第16回 TOTAL REVIEW		
キーワード			

教科書・教材・参考書	授業中に配布するプリントを元にタスクをするめる 参考書は授業中に適宜紹介する
成績評価の方法・基準等	PARTICIPATION & PRESENTATION 20% MINI-LISTENING TEST 20% MIDTERM EXAMINATION 20% END-OF-TERM EXAMINATION 40%
受講要件(履修条件)	1.A4サイズのノート 2.英英辞典を準備すること(携帯電話不可)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	1.毎週課題を出すので家で完成させること 2.ほぼ毎週mini-listeningテストを実施するので準備しておくこと 3.詳細については授業の初回に説明します



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

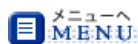
[印刷](#)

シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005026	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2P19)		
編集担当教員	ローン マリー		
授業担当教員名(科目責任者)	ローン マリー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン マリー		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	2P19		
担当教員Eメールアドレス	lawnmj@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室/長崎純心大学C221		
担当教員TEL	(長崎純心大学) 095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	以下、英文のシラバスを参照のこと!! Eを押してください。		
授業方法(学習指導法)			
授業到達目標			
授業内容			
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





シラバス参照

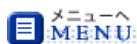
タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590005010	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Fc)																								
編集担当教員	藤内 則光																								
授業担当教員名(科目責任者)	藤内 則光																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤内 則光																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]322																								
対象学生(クラス等)	2Fc																								
担当教員Eメールアドレス	fujuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師控室																								
担当教員TEL	095-840-2000(内線335)																								
担当教員オフィスアワー	外語大335研究室にて随時・要確認																								
授業のねらい	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。																								
授業方法(学習指導法)	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。																								
授業到達目標	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。																								
授業内容	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10/6 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認	2	10/13 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ	3	10/20 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ	4	10/27 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ	5	11/10 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ	6	11/17 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ	7	11/24 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ	8	12/1 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ	9	12/8 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ	10	12/15 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
回	内容																								
1	10/6 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認																								
2	10/13 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ																								
3	10/20 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ																								
4	10/27 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ																								
5	11/10 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ																								
6	11/17 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ																								
7	11/24 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ																								
8	12/1 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ																								
9	12/8 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ																								
10	12/15 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ																								

	11	12/22 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
	12	1/12 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
	13	1/19 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
	14	1/26 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
	15	2/2 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
	16	2/16 定期試験 90分、提出物最終締め切り
キーワード		
教科書・教材・参考書	主教材：What's on Japan 5(金星堂) 副教材：Campus Listening(成美堂)	
成績評価の方法・基準等	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験80%(単語理解8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 21%(部分点なし)、内容理解23%、課題英作文 20%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p>	
受講要件(履修条件)	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	英語の実用的運用能力を、訓練を通じて向上させる。また、英語の自学に必要な勉強・訓練方法も伝授する。実際に英語の実力を付けることで教科書の内容を理解させるのが目的なので、授業の予復習をしない学生の単位成立を保証しない。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005011	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Fa)		
編集担当教員	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	2Fa		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	授業終了時		
授業のねらい	世界情勢や文化、身近な問題まで幅広い内容を伝える海外のニュース番組をDVDで視聴しながら、リスニング力を強化する。またニュース英語に良く使われる構文や表現を学ぶことで、内容をすばやく把握する力を身につけ、国際的な視野の拡大に繋げたい。		
授業方法(学習指導法)	イギリスの代表的なニュース番組であるBBCニュースのビデオ教材を視聴しながらリスニング練習と大まかな内容把握を行い、ニュースの要旨を作成する。付属のDVDでの予習を前提とする。		
授業到達目標	ニュース英語のリズムや速度に慣れ、リスニング力を向上させる。現代の様々な社会問題に関するキーワードを習得しながら、ニュースの内容を大まかに把握することができるようにする。		
授業内容	テキストの各ユニットの中から学生にとって興味深い内容を持つニュースを扱う。毎回テキスト付属のDVDでニュースクリップを視聴し、リスニング問題の予習しておく。授業でニュースクリップを視聴しながらリスニング問題の解答を確認する。ニュースの本文を完成させ、おおよかな内容把握を行う。次にニュースに使われた重要な単語と5W1Hに関する問題演習を行うことで細部の理解を目指す。最後はニュースの要約文を完成させ、内容理解と新しい表現の確認をする。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	"King of Sushi" Threatened リスニング演習と内容把握	
	3	"King of Sushi" Threatened 総合問題演習と要約文の完成	
	4	Agatha Christie: The Queen of Crime Fiction リスニング演習と内容把握	
	5	Agatha Christie: The Queen of Crime Fiction 総合問題演習と要約文の完成	
	6	Troubled Waters in Somalia リスニング演習と内容把握	
	7	Troubled Waters in Somalia 総合問題演習と要約文の完成	
	8	A Caffeine-fuelled Economic Stimulus リスニング演習と内容把握	
	9	A Caffeine-fuelled Economic Stimulus 総合問題演習と要約文の完成	
	10	Swine Flu in Mexico リスニング演習と内容把握	
	11	Swine Flu in Mexico 総合問題演習と要約文の完成	
	12	Chinese Economic Growth リスニング演習と内容把握	
13	Chinese Economic Growth 総合問題演習と要約文の完成		

	14	New Stress Management リスニング演習と内容把握
	15	New Stress Management 総合問題演習と内容把握および G-TELP テスト
	16	定期試験
キーワード	ニュース英語、リスニング、	
教科書・教材・参考書	Understanding the News in English 8 (『DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える』 金星堂)	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況(発表)10%、定期試験 70%、G-TELP 20%	
受講要件(履修条件)	毎回予習して授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005015	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Fb)		
編集担当教員	上村 俊彦		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2Fb		
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-813-5500		
担当教員オフィスアワー	長崎県立大学シーボルト校上村研究室 (要事前予約)		
授業のねらい	英語の4技能(「読み」、「聞き」、「書き」、「話す」)の向上のための演習をおこなう。		
授業方法(学習指導法)	英文テキスト(Open Mind 2)と音声CD教材を使用して、英文の大意を取りながら読むこと(Extensive Reading)や英語音読(Shadowing)の演習をおこなう。また、基本的な構文や出現頻度の高い語彙を用いた英文作成(Writing)や発話の演習をおこなう。		
授業到達目標	中学・高校で学習した英語の基本的な構文やコミュニケーション必須語彙に習熟し、英語の発信技能の向上を目指す。		
授業内容	毎時間、前週学習内容に関する小テスト(リスニング)をおこなう。テキストの中の英文作成課題については、クラスで演習をおこなうとともに、iPortfolioを用いた課外レポートを課す。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、iPortfolioについて、Extensive Reading とは	
	2	1. I've been hanging out	
	3	2. Do you know who he is?	
	4	3. It was painted by da Vinci.	
	5	Review Units 1-3, Mid-Term Test	
	6	4. Who's your best friend?	
	7	5. Gotta have it!	
	8	6. She'd never been there.	
	9	Review Units 4-6, 7. Time for a makeover!	
	10	8. My life would be great!	
	11	9. What would you have done?	
	12	Review Units 7-9, 10. Anything's possible	
	13	11. What would have happened?	
	14	12. He said he was a movie star!	
15	Review Units 10-12, Summary		

	16 定期試験
キーワード	Extensive Reading, Four Skills
教科書・教材・参考書	Rogers, et al. (2010) Open Mind 2 Macmillan その他、必要に応じてプリント教材を配布予定。
成績評価の方法・基準等	教材テキストに関する2回の試験, 提出課題(iPortfolio使用), 出席状況等を総合的に検討して評価する。 Mid-Term Test 40% Final Test 40% Assignment 20%(iPortfolio経由で提出)
受講要件(履修条件)	欠席5回以上は失格
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎週クラス開始時のヒアリング・セッションでは、教材テキストの音声CDを用いた自立学習が不可欠です



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学教育_英コミⅢ」
シラバスの詳細は以下となります。

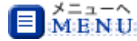


Semester	the latter term	Day・Period	THU2
Class period			
Required/Elective class	required	Number of credits	1.0
Time schedule code	20110590005027	Subject code	05900050
Subject	English Communication III		
Professor in charge of putting together the course syllabus	Murray John Lawn		
Professor in charge of the subject	Murray John Lawn		
Professor(s)	Murray John Lawn		
Class type			
Year	2nd,3rd,4th	Class form	Seminar
Class room			
Object Student	2Lb		
E-mail address	lawnmj@hotmail.com		
Laboratory	非常勤講師控室		
Tel	長崎純心大学C221		
Office hours	授業の前後		
Aim	In an increasingly international community the skill of communicating in English is essential. English at University typically ranges from communicating with non-Japanese friends or teachers, face to face, via E-mail or social websites, to writing and presenting academic papers. As the key to developing most skills is the combination of "knowledge" and "practice", based on the course text (incl. CD) plus some additional materials (handouts and a DVD - movie) students will be given the opportunity to further develop their communication skills through study and regular practice.		
Method	The course will be based around the text, plus some additional materials, this will include reading, writing, listening and speaking assignments, pair and group work/ discussions and readers' theatre styled assignments.		
Goal	After completing this course students should be more confident in speaking and understanding authentic English.		
Class outline/Con	planTime	contents	
	1	1.Oct. 6. Course outline, (handout - Scanning, skimming, phrase reading, shadowing), elements of an effective presentation - student self introductions	
	2	2.Oct. 13. Communication - Parents and children, Between friends	
	3	3.Oct. 20. Lifeline to real English (use of facebook "in English" will be encouraged)	
	4	4.Oct. 27. Work and Money - Working to live or living to work, Entrepreneurs *1	
	5	5.Nov 10. Technology ' Communications systems, Using technology *1	
	6	6.Nov 17. House and home - Home away from home, Lifestyles *1	
	7	7.Nov 24. Crime and law - Famous crimes, Crime and punishment *1	
	8	8.Dec. 1. Mass media - Do the right thing, Investigative journalism *1	
	9	9.Dec. 8. Trends - My generation, looking good *1, mid-term movie subtitle exam	
	10	10.Dec. 15. Big moments - Personal firsts, Your first date *1	
	11	11.Dec. 22. Men and women - Changing times, Coincidence or destiny? *1	
	12	12.Jan. 12. Stages of life - Learning to be human *1	
	13	13.Jan. 19. Stages of life - Goals in life *1	

	14	14.Jan. 26. Key points to an effective interview, student interviews (1/3)
	15	15.Feb. 2. Exam preparation, student interviews (2/3)
	16	16.Feb. 9. Final paper (textbook & movie subtitles) exam and student interviews (3/3)
Key word	Reading, writing, listening, speaking	
Textbook,Teaching material,and Reference book	Synergy 4 著 Adrian Tennant, Clyde Fowle, Simon Brewster, Paul Davies, Mickey Rogers (Macmillan LanguageHouse, 2006) DVD - movie (The Lion, The Witch and The Wardrobe) subtitle text data available at http://murraylawn.org/narnia.pdf	
Evaluation	Regular assignments – text book work (incl. reading/ writing/ speaking & listening) 30%, mid term subtitle test 10%, end of term exam 40% (textbook 10%, subtitles 10%, interview 20%), Attitude (incl. punctuality) 20%	
Prerequisite	Students are expected to come to class on time with the textbook, a notebook and dictionary	
Location		
Study and educational target of this subject		
Remarks(URL)		
Remarks(Preparation study etc.)	*1 Coverage of the above will be optimized to match the student' s pace and interests.	



 Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

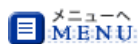


学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005013	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Ld)		
編集担当教員	島山 均		
授業担当教員名(科目責任者)	島山 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島山 均		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	2Ld		
担当教員Eメールアドレス	hatakeyama@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて		
授業のねらい	Voice of Americaを素材として作成された教材を使い、主としてlistening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)	小テスト、テキストに従いlistening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。		
授業到達目標	まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	第1回 Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明	
	2	第2回 Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	3	第3回 Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	4	第4回 Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	5	第5回 Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	6	第6回 Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	7	第7回 Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	8	第8回 Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	9	第9回 Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	10	第10回 Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	11	第11回 Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	12	第12回 Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	13	第13回 Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	14	第14回 Unit 13 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	15	第15回 音読テスト	
16	第16回 定期試験(筆記試験)		
キーワード			

教科書・教材・参考書	安波誠祐・Richard Levin (2011) The Global Health and Environment: VOA Topics from Around the World 松柏社.
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト----40% 音読テスト-----20% 期末試験-----40%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590005034	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2Lf)		
編集担当教員	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカラド		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	2Lf		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.